

日本語

神様の創造

最後の日に神様はご自身の形で男と女を創造されました。私たち人間が必要なものはすべて地球上に注入されています。その中で、神様は私たち人間を万物の霊長として祝福されたものとして創造されました。

不幸の始まり

幸せが続くはずが、なぜここに不幸が始まったのでしょうか。なぜ私たち人間は生きる中で言い表すことのできない苦しみ、苦痛の中で生きようになっただのでしょうか。聖書では人間がなぜそうってしまったのか、その根本を伝えています。それは神様から離れたからです。神様と出会うべき存在が神様から離れてしまい、また神様の御言葉に不従順したため、それが罪となりました。不従順の罪です。

不従順の理由

なぜ不従順したのでしょうか。それは目に見えないサタンという存在に騙されたからです。私たち人間は創世記3章1から6節を見ると、神様から離れた場面が書いてあります。神様が取って食べてはならないと言ったその御言葉に不従順したため、人間はこの地に生まれると一人も欠かさずみんな原罪を持って生まれました。原罪というのは、自分には過ちがないのに生まれてみたら過ちを犯した人間としてその運命そのものが囚われた状態として生まれてくるのです。

アダムの子孫

聖書にはアダムの子孫と記録されています。初めの人間アダムの子孫。私たち人間はみんなアダムの子孫です。中国人、韓国人、日本人、ロシア人、関係なくみんなアダムの子孫です。そして何を持って生まれたのでしょうか。原罪を持って生まれました。でも私たち人間はみんなサタンに運命が握られて生まれたのです。

不幸の原因

この3つの問題のせいで私たち人間の不幸が始まりました。生きる中で継続した苦痛が訪れます。創世記3章16から20節を見ると、苦痛が書いてあります。皆さんが最も受けている苦しみとは何ですか。精神的な苦しみを最も多く受けていると思います。ストレスを多く感じていると思います。ストレスを受けていない人はいません。少しミスしたのが見えると、何か怒りが出てきたり、気分が悪くなったり、イライラしたり。そのような苦しみが精神において、脳内に刻印されています。そして心の苦しみも続きます。だから余裕がなくて不安です。焦っています。いつも心配。うまく進まないと恐れてしまって。このような苦しみが私たちの心の中に鬱をもたらせ、何かに縛られるようにして苦しみを受けさせています。使徒行伝10章38

節には「悪霊に抑えつけられている」と書いてあります。何が抑えつけられたのでしょうか。心が抑えつけられてしまいました。辛いですね。人たちは大半がこのような心を持って生きていると思います。

身体的、生活の苦しみ

身体的、生活の苦しみがあります。経済の苦しみ、生活における苦しみ、環境的な苦しみも生活の苦しみです。肉体的にどこか痛いことも生活における苦しみ、仕事が進まない、うまくいかないことも生活の苦しみです。このような苦しみ、苦痛が続きます。ですから、人間はこの幸せな人として創造して生まれてきたはずなのに、なぜこんなにも不幸なのか。聖書ではその答えを伝えています。私たち人間は結果的にこのような苦痛を受けてしまったと。精神の問題、心の問題、肉体的な生活の問題が継続してくるので、人間は結局、彼らの心の中に神を探し求めているのです。聖書にあるように。

偶像崇拜

神々を探すようになりました。神に会うためにもがき始めました。それによって生み出されたものが偶像崇拜です。偶像の神々はすべて人間が生み出したものです。木を削ったり、鉄を溶かしたりして人間が尋ねて「私にはこのような問題があります」と言って拝むしかない。これは悪いことでしょうか。いいえ、悪くはありません。どうしようもないことです。偶像崇拜は悪いと言っているのではありません。なぜなら、自分の上に湧いている問題を解決するためにもがいていることだからです。しかし、その偶像に対して聖書では「偶像崇拜だ」と言っています。神様は「私の他に他の神々を使えてはならない」と言いました。創造主の神様、私たちを創られた神様、私たちの人生の生死確保を主観されている神様が私たちに言われました。「あれは神ではない。人間が生み出したその信念によって生み出された宗教にすぎない。しかし、それをサタンという存在が掌握しているのだと。しかし誠の主人ではない」と。それを崇拜すると、三代四代にまで継続してこの災い、呪いがあなたの家門に臨むと神様がそのように言われました。なぜなら創造主ではありません。人間を創られた神ではないのです。

サタンの存在

でも人間は神様を知らないと、一時防衛として自分の結果的な問題の解決をするために偶像を生み出し、それに仕えるしかないのです。それが偶像崇拜です。お金がない人であれば、お金さえ多く稼げたら自分の人生の問題が解決できると考えます。私たち人間が一度死ぬことは避けられません。物体は地球から地球に戻ります。物体の中に入っている魂は、神の国へ行かなければなりません。これが死の問題です。悪魔の子供は悪魔の国に帰ります。これを地獄と言います。天国と地獄、死んでみたらわかるでしょうという人もいます。死んでみてください。その時になったらわかります。救われた神様の子供は神の国に行くことが可能なのです。それ

が私たちの故郷です。皆さんの魂の故郷は神様の国。皆さんの肉体の故郷は土です。土で人間を神に作ったと言うと土に帰る。私たち人間は人間のように少しずつ消えてしまいます。80、90、100歳まで生きていれば、どれだけこの土にこの言葉によって苦しみを受けているのでしょうか。この苦しみを考えたことが、言葉にできません。人々は毎日苦しみを受けています。ですから私たち人間は幸せな存在ではなく、不幸な存在に変わりました。私たちが死んだ後、父親が亡くなったとして、祭りを行います。ですから、3、4代の子供が苦しむと言いました。このような苦しみの問題をどう解決するのか。神は最初からこの問題を解決する方法を与えます。それを創世記3章15節の話と言います。女の子の子孫が来て、この蛇の頭を傷つけます。この女の子の子孫は誰ですか。聖母が生まれた人。今日、私と皆さんがキリストと会うと、人生の問題が不幸から幸せに変わります。本問題は次の問題です。知識の問題も次の問題です。環境の問題も次の問題です。皆さんが病気が治ったか治らなかったか、事業がうまくいったかうまくいかなかったか、それも次の問題です。なぜ次の問題ですか。そういう問題を持っているときに、起源があります。起源の問題が起源になります。

解決の道

その問題を解決する道はまさにキリストです。ヨハン14章6節で「私が道であり、真理であり、命です」と言われました。私の前にあるのではないかと父から言われた。私が道であり、真理であり、命なのです。私を通してなければ誰一人神に会うことはできません。イエス・キリストは私と皆さんの神様と出会う道です。私たちの人生の答えです。幸せになる答えです。全てを解決する答えです。それがキリストです。罪の報酬から来るものが死であると言います。全ての苦しみを受けながら死んでいきます。70歳まで生きたとしても、100歳であれ、その苦しみを受けて死んでいきます。この苦しみが私たちに続いて参ります。それが苦しみの中での生活です。ローマ書8章に「命の法は罪と死の法であなただけを解放する」と言いました。それがキリストです。キリストというのは油を注がれた者です。神は油を注がれました。誰に？空虚の時代の預言者ではなかった。それはまさにキリストです。第一ヨハン3章8節です。神の子が現れたのは悪魔の仕業を打ち壊すためです。目に見えないサタンと戦うのです。戦うことができる力を持ち、その存在を打ち破るのです。神の中に私たちがいるのは、悪魔の仕事を打ち壊すためです。イエス・キリストは神様の御子です。サタンの剣を打ち砕かれた誠の王。この三つの職業がキリストだと言います。キリストを信じるべきです。

3つの根本問題

この3つの根本問題がキリストによって解決されるのです。昔はキリストを知らなかったために、精神的な苦痛、心の苦痛、肉体の苦痛、全ての苦痛が来ました。しかしキリストの中で、本当にキリストと会ったら、この苦痛が消えます。本当にキリストと出会って、キリストの中でこの苦しみが全て機械になります。全て土台にな

ります。祝福です。このように変わりました。皆さん、まだ皆さんの不幸を祝福に変えることができないなら、皆さんは不信者の思いを持っています。神様が全く知らなかった時のその生活を持っているということです。必ずそうです。ローマ書19章30節です。「私が全てを完了した」。私たちは今、誠の幸せな人々です。父さんは、まだ精神問題、心の問題、そして肉体的問題があります。この苦しみは、神様と出会う機会になりました。福音を探る機会になりました。だから土台なのです。このような苦しみがなければ本当にキリストと出会うことができなかった。福音の祝福です。それが本当の祝福です。教会に行けば事業の問題が解決される。それが解決されたらどれだけいいのでしょうか。しかし、それが優先順位にはなりません。皆さんの痛みや苦しみを感しながら、なぜ私たちにこういう問題が来たのかを考えてください。聖書では神様から離れたからだと言います。聖書では神様の御言葉に不従順したからだ。私の運命がサタンに囚われてしまったからだ。だから事がうまくいきません。だから苦痛を受けるのです。だからずっと絡まっているのです。聖書ではずっとそれを言っています。ですからキリストに本当に出会いなさい。神様に出会う道は私であると。あなたの全ての呪い罪が終わった。目に見えないサタンの剣を私が砕いておいた。その人がイエス・キリストです。私と皆さんの全ての問題が解決されました。救われたならば、お金を手伝ったならば、このような問題を見方が変わります。考えが変わります。昔は熱心に解決しようとしてしました。皆さんは精神的に辛いことがあったのでしょうか。一般的な支え付けられたことはありますか。会議に振られたことはありますか。話し合いにあったことはありますか。私はありました。誰かが起こしてくれたり、触れてくれたりしたらいいんですけれども、いくら動いても、もうすでに抑えつけられているので、回復ができませんでした。考えにより動かそうとしても、全然無理でした。そうやって死んでいくのです。それが悲しいことです。そういう経験はありますか。皆さん、鬱病を経験したことはありますか。何か鬱なのです。特に今日みたいな天気です。雨がずっと降っている日。なんだか気分がダウンしてしまって、何かうつ。隣の人が何か言っても、そんなに耳に入ってこない。私の力でコントロールできましたか。絶対無理です。それを霊的世界と言います。誰が働いていますか。聖人が働く時に抑え付けられますか。いえ、悪霊の働く時に抑え付けられますか。聖霊の働く時に抑え付けられますか。いえ、悪霊の働く時に心が抑え付けられていると言います。その悪霊を追い払うべきです。出て行けと言って出て行きますか。いいえ。いいえ、知っていますか。いいえ、知っています。私がイエス・キリストの名を呼ぶ時に、悪霊は散り去ります。なぜキリストですか。神の御子が現れたのは悪魔の仕業を打ち壊すためです。だからサタンが最も恐れるのは他ではありません。皆さんの中に宿っているイエス・キリストの名です。その前にサタンは膝を立てます。そうです、皆さんの中にキリストがいるというのは全てが正しいのです。宗教の中の一つを選んで信じるのではありません。神様は今も生きています。今も私と共にいます。今も私を導かれます。私と皆さんの人生に責任を取られます。この事実をどれだけ信仰を

持って告白できますか。その信仰を持って生きていますか。プライベートはすでに一つの道で。ともに生きています。それが信仰なのです。その信仰を私の人生の道でともに持っているのです。ですからキリストを心の中に私の人生の主人として受け入れてください。それが聖霊が私の内側に内住したと言います。第一コリント3章16節、あなたが神の神殿であり、神の聖霊があなたの内に行われるのか、聖霊の靈性が宿っているのか、あなた方は知らないのですかと言います。皆さんの内側に誰がいますか。聖霊が共におられます。このような人はどんな混乱も危険も刃も邪心も何でも神の中に生きていますからです。縛りを作りました。

それが神と一緒にいる秘密です。このような確信を持って信仰することができます。神は私の世界を救う神です。神は私の世界を救う神です。神はこの世の中の罪を取り除くために来しました。

今日、神様と離れた問題、またサタンのこの問題を十字架で解決するために来られました。それがマタイ16章16節、キリストです。主はキリスト、生きる神の御子です。全てのこのサタンを砕かれました。全ての罪と呪いも解決されました。神様から離れた者に神様と出会う道を渡しました。その方がキリストです。キリストは誰か。コロサイ2章2-3節、神様の奥義です。キリストは神様の奥義です。その中に全ての知識と知恵と御法を隠しています。だからキリストを悟ったら全ての問題も全て解決されます。なぜなら、ヨハネ19章30節、私の根本問題を解決されます。本当にキリストが私の主人となり、皆さんの苦しみの問題、全て土台となり、全て地球に変わったことだと信じます。その信仰を持って生きていくのです。誰が皆さんを害することができますか。誰が皆さんを裁くことができますか。誰もいません。今日、私たちの罪と死の法で、全ての人が救われたいと思います。それは私たちのための救いです。マタイ24章14節では、天国の福音が全ての人に述べ伝えられてから、終わりが来ます。だから、神が私と皆さんを前導者と呼びます。神が私と皆さんを先教師と呼びます。そうです、皆さん。神が出会った道を教えてください。今、呪いと罵られている人に何が必要ですか。解放された道を伝えるべきです。サタンに捕まって、運命に捕まって、ずっと呪いを巻いて、うまくいっていない。その人に何が必要ですか。サタンを取って、権威を持つものが必要です。それを話してあげるべきです。それを伝道させるのが伝道です。皆さん、この国で伝えてあげると、見て、宣教師だと言います。だから、皆さん、みんな伝道者です。皆さん、みんな天国にいます。未信者といっばい出会っています。

話してあげてください。そうです。この福音が全ての人に述べ伝えられてから、終わりが来ます。今日はエリシャです。エリシャは神様が準備された人です。神様が準備された人。エリシャはエリアに出会ってからイエスを信じたのではありません。その家門からずっとその教会を握って伝わってきたそのような家門にいました。神様がその家門を修復されました。その家門にあるのは、歴代誌上27章29節です。サバテという名前が出ています。サバテは誰ですか。エリシャのお父さんです。

サバテという名前はエリシャのお父さんです。そこにおじいちゃんの名前が出ています。アデライというおじいちゃんの名前が出ています。彼らは誰でしょうか。ダビデ王の財産管理をしていた人です。サバテはダビデ王の財産管理をしていた人です。だから、皆さん、ダビデ王は大きな財産家です。その財産を誰に任せることができたのでしょうか。誰に任せましたか。信仰があったのでしょうか。私の管理する実力があった人、この信仰と実力を兼ね備えた人、この人に委ねました。皆さん、レムナントたちがいつ神様に用いられますか。皆さんの実力だけではありません。信仰と実力が備えられます。ですから、レムナントたちはこの信仰と実力を兼ね備えた人に、この準備さえ必要なものを用いられます。この祝福を、私たちのレムナントの子どもたち、子どもたちに受けられるように願います。

神様がエリシャをこの家門から呼ばれました。この信仰の実力を兼ね備えていた神様が指名されました。ヨハネ3章19節で、エリアにアベルのサバテの息子のエリシャに油を注ぎと記録されました。あなたに代わりに無限者となると。エリシャは、その時、ダビデ王の牛や豚を通して、ずっと田んぼを耕していた人です。その時、神はエリアにエリシャを送って、エリシャを見つけました。エリシャを指名した上で呼ばれました。私たちは、皆さんが熱心に教会に通って信仰生活をし礼拝を捧げることも良いでしょう。しかし、神様の前で用いられる人となるべきです。神様が用いられる働き人となるべきです。だから皆さんは従事者としても、また教師としても呼ばれます。従事者としても、御社長としても、また執事として、役員として、部門長として呼ばれます。重要なのは教会に通うのではなく、信仰の国が拡大するために用いられることです。信仰の国が拡大するために何を手助けしますか。

私たち人間がどこで暮らしているのかが重要ではありません。どんな人になるのかが重要です。皆さん、どこに住んでいるのかが重要です。そこできちんとした人間の生き方をすることができるのではないかと。どこで暮らしているか、またエリシャが豚や牛によって田を育てているか、どこにいても関係がありません。場所が重要ではありません。環境が重要ではありません。信仰と能力を準備するために、神様がこちらでご指名された人になることが重要です。それが御志です。皆さん、弟子となってください。神様が用いられる時です。だから信仰生活は用いられる時です。教えの時に用いられる時です。神様の名前で用いられる時です。用いられるように願います。皆さんに証明を受けます。エリシャが証明を受けました。11列王記19章19-21節。エリアがエリシャの家を訪ねました。そして神様があなたに愛を注いで、私の代わりに預言者となると。このように一言を投げた時にどのような反応を示しましたか。反応は24匹を持って私を輝かせていたんですね。エリアを見た瞬間に道具を壊して、エリアに従いますと。そして私は親に両親に話をして、またあなたについて行きますと。そしたら突然、牛を2匹連れて行って、その道具を壊しました。そして牛2匹を殺して、町の村の人みんなを呼んで、その宴を開きました。宴を開いて、私はこの先神様の下でエリアについて行きますと完全に決断しました。皆さんがよくご存知のペテロはどのようにして行きましたか。漁師だったんですね。ガ

リラヤ湖で魚を捕まえていました。一匹も捕まえられないまま網だけが破られて、ペテロは群れを持って私はその深いところに行って投げました。

言葉の中に従順した時に、自分の兄であったアンデレの船も全部いっぱいになって戻ってきました。その時にイエス様がペテロに「あなたは私について行きなさい。私はあなたを魚を捕る漁師または人を捕る漁師にしてあげる」と。ペテロはその言葉を一言で受けました。魚を自分の兄であったアンデレに任せました。エリシャのように道具を壊してついて行くべきです。船を壊したり、船を捨ててついて行くべきです。しかし、お兄ちゃんに任せて行きました。なぜなら、イエス様が知らない時にイエス様を否定して逃げていこうと逃げ道を作っておいてついて行ったのでした。しかし、エリシャは？牛を殺して、また道具を壊して、完全にエリアについて行きますと決断しました。皆さん、従順者は誰でしょうか？どの人が真の従順者でしょうか？逃げるために準備している人？

完全にエリシャのように決断してついて行くことです。それが弟子です。皆さんに、今後皆さんがこのような募集をする時、本当に神の前に決断してついて行く、そのような従事者をたくさん見せることが重要です。そしてマジです。エリアについて行く中で、エリアはこのように言いました。第2列王記2章9節、エリアはエリシャに言いました。「あなたが連れ去られてしまう前に、あなたが私に何かを求めなさい。あなたが私について行く前に」。エリシャは「あなたの霊の分け前を私に与えてください」と祈りました。皆さん、一つ求めました。一つの祈りの題目がありました。今日、私と皆さんの祈りの題目はどれだけありますか。エリシャは一つの祈りの題目でした。私たちが言う聖霊充滿を私にください。聖霊充滿の二倍の分け前をください。これ一つで全て終わりました。今日、私と皆さんの祈りの題目がたくさんありますが、皆さん全てなくしても構いません。何をしたらいいですか？聖霊充滿を私に与えてください。これ一つを求めるならば、全て終わります。人はなぜ信仰がついたり落ちたりしますか？聖霊充滿が持続していないからです。聖霊はおられません。聖霊は持続していません。持続できていない時に、ただの通路と不信心で私の感情が生じて、私の気分や判断力が生じます。聖霊充滿が起きていないからです。皆さん、エリシャが私に神の前で祈ることはたった一つです。聖霊充滿を与えてください。今日、私と皆さんがこの充滿を与えるようにしなければなりません。皆さん、毎日毎日、瞬間瞬間、聖書をたくさん読んでください。聖書にも証拠があります。ヨセフは神の霊が宿っていた人でした。ダニエルも神の霊が宿っていた人でした。彼は神の聖人でした。また一時代を生かしました。全ての人を生かしました。今日、私と皆さんが聖霊充滿を受けたら、全ての人を生かすことができます。士師13章には何とありますか？「この日以来、主の霊が激しく下った」と。聖霊充滿。この地球上に王のような王はいません。最高の王でした。本当に神様の主権を信じる信仰でした。私と皆さんは今週神様に祈ること、皆さんに多くの苦しみがあることもありますが、神様、私に命をください。

神の能力が私に来るように、これ一つで全部終わります。これ一つを求めました。神様に捧げられたエリシャ。エリシャはエリシャを継承しました。私と皆さんも今日弟子となりましょう。皆さんも弟子となりましょう。正しい契約伝達を弟子となりましょう。神は火の車と火の馬に乗って、天に昇りました。死を味わわずに昇りました。天に昇ったとあります。誰がこの死を味わわずに神を取ったのですか？エノク。私たちの教会にもいいエノクがいます。死を味わいませんでした。上がりました。二番目、エリシャ。不安と不平等の中、火の車と火の馬と共に、神様の肉に上がりました。そして最後に、ヨナタン。第二列王記6章23節では、アラム軍の部隊が再びイスラエルに襲わなかった。アラムの危険を受けました。このようなものすごい祝福を受けました。それでドダンの運動が起こりました。結局、アラムの軍隊を完全に破壊しました。イスラエルの国の王様時代、入ることができなかったと噂を伝えました。どうする人？本当に神の霊が宿っている人、聖霊充滿の人、靈力のある人。このような人が皆さんの家門の災いをつけます。また地域の災いもつづけます。皆さんのことがうまくいきませんか？人間的な考えをしないでください。皆さんはまことに聖霊充滿を受けて、神が働かれるようにして下さい。門が開かれます。いつも皆さんは水準で生きようとししないでください。神様、能力を持って生きていてください。今週このような能力を皆さんに求めるように願います。私の家族の災いを防ぐために、このような働きが起こりますように、お祈りして終わります。神に感謝します。